

第332回 開放型病床生涯教育研修会を開催しました

令和5年10月5日に第332回開放型病床生涯教育研修会を開催しました。

今回は脳神経外科責任部長 堀口聡士先生を講師に迎え「脳梗塞の治療 薬物治療と血管内治療」をテーマにご講演いただきました。

今回も会場とZoomとのハイブリッド形式で開催し、院内外から65名の参加をいただきました。

講師からは、血栓回収の事例を動画にて紹介され大変わかりやすい説明をいただきました。

参加者からは、治療開始までの時間がとても大切だと再認識できたと感想をいただきました。



地域医療従事者研修会のご案内

第334回 開放型病床生涯教育研修会 兼 第13回 化学療法研修会

日時：令和5年12月7日（木）17:30~19:00

テーマ：「泌尿器癌（腎癌・膀胱癌・前立腺癌）の薬物療法」

講師：和田 晃典 氏 滋賀医科大学泌尿器科学講座 助教

会場：市立長浜病院 本館2階 講堂

申込み：FAX またはメールでお申し込みください。

※ 講師は、滋賀医科大学より Zoom にて講演されます。

※ 申し込み方法等は、別添の開催チラシをご参照ください。

※ Zoom での参加も可能です。

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大の推移により、開催方針に変更がある場合は速やかにご案内いたします。

お知らせ

市立長浜病院 びょういんの参観日の開催について

～知ってほしい長浜病院ってこんなところ～

日時：令和5年11月11日（土） 10:00~12:00

内容：体験ブース（整理券方式）

革細工でオリジナルストラップを作ろう！

キッズファーマシー（薬剤師の調剤体験）

親子で楽しく健診体験、やってみよう手洗い！

超音波・顕微鏡検査体験、目のふしぎ体験

歯科・印象採得体験（石こう模型作成）

見学コース（予約制）

手術室の看護体験・放射線技術科見学

各種展示コーナー

※ 詳細については、QRコードからホームページをご覧ください。



地域医療連携室よりお知らせ

現在【呼吸器内科・腎臓代謝内科・歯科口腔外科・眼科・神経内科（月曜日）】の診療科につきましては、多数のご依頼により直近でのご予約が非常に取りにくい状況になっております。大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解賜りますようお願いいたします。

市立長浜病院 地域医療連携だより 令和5年11月1日号 No.224

理念
地域住民の健康を守るため、
「人中心の医療」を発展させ、
地域完結型の医療を推進します。

市立長浜病院
患者総合支援センター 地域医療連携室
〒526-8580 長浜市大茂亥町 313 番地
TEL：0749-65-2720
FAX：0749-65-2730
https://www.nagahama-hp.jp/



救急告示病院
日本医療機能評価機構認定病院
地域がん診療連携拠点病院
厚生労働省臨床研修指定病院
周産期協力病院
地域医療支援病院

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当院病院事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。11月の外来診察担当医師表を別添資料でお届けいたしますので、ご査収ください。 敬白

総合血管病外来について

総合血管病外来担当医師・副院長 小室 太郎



◆ 総合血管病外来とは

狭心症・脳卒中・大動脈解離・大動脈瘤・腎動脈狭窄症・閉塞性動脈硬化症、いずれもほとんどが動脈硬化を基盤として起こりますので、本来は全身性の血管の病気として扱われるべきものです。しかしながら、日本全国どこに行っても各科がそれぞれの領域について精査・加療・経過観察をしているに過ぎません。2018年にいわゆる「脳卒中・循環器病対策基本法」が成立してこの領域の法整備・施策が進む中、当院では前述の疾患を全身の血管病として扱い、「次の重い病変」を見つけ出してそれぞれの専門科につなぐことを目指しています。これは人間ドックとは異なり、保険診療です。

◆ かかり方

対象：狭心症・脳卒中・大動脈解離・大動脈瘤・腎動脈狭窄症

閉塞性動脈硬化症で加療を受けた方または高血圧&糖尿病&脂質異常症にて加療中の方

検査内容：頭部MRA（MRIの血管検査）・胸部腹部単純CT・心エコー・腎動脈MRA・負荷ABIのうち未施行のもの

担当：小室太郎（脳神経外科）

予約：当院地域医療連携室経由でご予約してください。

紹介状には、狭心症・脳卒中・大動脈解離・大動脈瘤・腎動脈狭窄症・閉塞性動脈硬化症または高血圧&糖尿病&脂質異常症といった病名のみを記載して頂き、あとは「総合血管病外来」と指定して頂くだけで結構です。

初回は患者さんにこの外来の概略を説明し、検査する項目の相談をして検査の予約を取ります。検査と説明は全て外来で、必ずしも一気に行うのではなく、ペースは患者さんと相談して決めます。

ちなみに、2023年10月時点のそれぞれの検査料金は以下のとおりで、患者さんのご負担額はそれぞれの健康保険の負担割合となります。

・頭部MRI/MRA 救急梗塞セット	20,800円
・頸部胸部腹部単純CT	17,700円
・腎動脈MRA	20,800円
・心エコー（経胸壁）	8,800円
・負荷ABI	2,000円

◆ 治療・経過観察対象の病変が認められた場合

治療の必要性が疑われた場合には、各科外来に紹介いたします。

総合血管病外来での看護について

慢性疾患看護専門看護師 秋吉 美典



動脈硬化には加齢や生活習慣が大きく関連しています。動脈硬化が重症化すると心筋梗塞、狭心症、脳梗塞、大動脈解離などを発症し命を脅かし、今までの生活の質は低下する恐れがあります。身体の一部の動脈で強い動脈硬化が原因で先に示したような疾患を発症された患者様や、血液検査などで医師から動脈硬化が強い状態と指摘された患者様は、全身の動脈に病変があることが示唆されます。そのため、総合血管病外来では、早期に治療が開始するために重篤な疾患につながるような動脈の病変を見つけるために検査を行っています。

当院の慢性疾患看護専門看護師は、動脈硬化から重篤な疾患を発症された患者様や発症リスクがある患者様の生活習慣改善のお手伝いをさせていただきます。また、病気を持たれた患者様が病气と長く付き合いながら生きがいをもち、住み慣れた地域での療養生活をその人らしく、いきいきと送ることができるように生活習慣の見直しや、在宅療養生活の支援を地域の支援者の方々と協働して支援をさせていただきます。

在宅療養生活を送られる中での些細な心配事や療養生活の中でお困り事がある患者様や前述の対象疾患をかかえておられる患者様がおられましたら当院総合血管病外来をご活用いただくと幸いです。

アレルギー科を開設しました！

アレルギー科担当医師 陌間 大輔

2023年10月よりアレルギー科外来診療を開始しました。

全国的に成人患者さんへのアレルギー診療を行う受け皿は少なく、滋賀県も例外ではありません。当科では食物・薬剤・昆虫アレルギー・花粉症など診断・治療を行い、アレルギーでお困りの患者さんのQOL向上を目指します。診断に至らないこともあります。まずは一度ご相談ください。

主に以下の患者さんを対象とします。

- ・食物アレルギー
- ・薬剤アレルギー（即時性・I型アレルギー）
- ・ハチなどの昆虫アレルギー
- ・ダニによる通年性アレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法
- ・スギ花粉症による季節性アレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法
- ・原因不明の蕁麻疹（金属アレルギーに対するパッチテストなどは当科では行なっておりません。）

食物アレルギー

食物アレルギーは子どもの病気というイメージがあるかもしれませんが、成人発症も少なくはありません。特に小麦・甲殻類・魚類が多く、誤食も含めアレルギー症状で医療機関を受診される方も多くみられます。また食べた際に何らかの症状があり、ご自身でアレルギーと思い込んでしまって食べられるはずの食事に制限をかけておられる方も見受けられます。また、薬剤では特に抗生剤：ペニシリン系のアレルギーが否定はできないという状況の方が多く、キードラッグと言える薬剤が使えないために広域抗生剤を使用せざるを得ないこともあります。

当科では問診・血液検査・皮膚検査・負荷試験を行い、アレルゲンの同定や今までアレルギーと思われていた食物・薬剤について、その疑いの解除を目指します。

スギ・ダニ舌下免疫療法

花粉症はもはや国民病と言われ、10人に4人は花粉症に罹患し、年々さらに増加傾向です。ダニによる通年性アレルギー性鼻炎も含め、症状によってはQOLの低下、仕事・家事の効率低下、学力の低下を来すとも言われています。舌下免疫療法はスギ花粉やダニのアレルゲンを少量ずつ定期的に長期間投与することでアレルギー症状を軽減、根本的に改善することを目指す治療です。約8割の人に効果があり、副作用も少ないとされていますので、ぜひご相談ください。

子宮頸がんのワクチン接種(ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン)について

予防接種外来担当医師 野田 恵加



日本においては、女性のがん罹患数の第5位が子宮がん、中でも子宮頸がんは1年間に約1万人が発症し、約2900人が亡くなっています。20歳代～30歳代という、就職・結婚・出産・子育てなど、ライフイベントが多い時期の罹患が多いのが特徴です。その多くが、HPVの感染が原因とされ、ワクチンの接種と検診の受診により約90%予防、今世紀中に排除可能と推計されています。

子宮頸がんのワクチンは、2013年より定期接種となりましたが、接種者が訴えた体調不良をメディアにセンセーショナルに取り上げられ、積極的勧奨が控えられていました。結果、接種人数が大幅に減少し、接種率の高い海外と比較して子宮頸がんの罹患率が高く先進国(G7)の中ではワースト1位です。その後日本を含め世界中で行われた数多くの研究で安全性が確認され、2022年より定期接種(小学6年生～高校1年生に相当する女性・6ヶ月開けて2回接種)が再開、同時にキャッチアップ接種(平成9年度生まれ～平成19年度生まれの女性・2ヶ月、6ヶ月開けて3回接種)も開始されました。しかし、医療へのアクセスが少ない年代であることや、副反応に対する不安などがあるからか、まだまだ接種できていない方が多いようです。公費で接種できるキャッチアップ接種は2025年3月までとなっていますので、2024年9月までには1回目の接種を受けていただくことをお勧めします。(詳しくは市のホームページなどをご覧ください)

また、HPVは女性特有の子宮頸がんや外陰がんだけでなく、肛門がん・陰茎がん・中咽頭がんにも関与するとされています。性交渉を通じて感染するので、男女にワクチン接種をすることで更に感染の広がりを抑えることができます。一部自治体では男性のワクチン接種費用補助が始まっており、国の審議会でも議論が始まっています。

当院では小児科外来と予防注射外来(成人)にて、予防接種を受け付けています。私が担当している火曜日は、子宮頸がんワクチンの他、帯状疱疹ワクチン、海外渡航前の方のワクチンなども対応しております。何かありましたら、お気軽にご相談ください。

リレー・フォー・ライフ・ジャパン滋賀医科大学に参加しました！

がん対策推進室

リレー・フォー・ライフとは、全国の各地においてがん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合いがん征圧をめざすチャリティイベントです。がん患者さんやご家族、そして支援者がグラウンドなどを交代で24時間歩き続け、痛みを分かち合い、勇気と希望を与え合います。

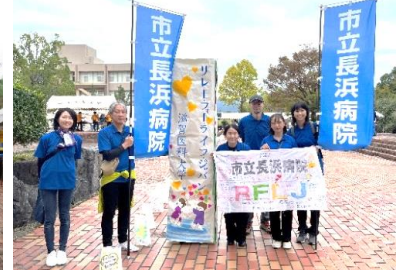
当院は、令和5年10月14～15日に開催された「リレー・フォー・ライフ・ジャパン滋賀医科大学」において9名の職員が参加しました。今年度は5年ぶりに現地で開催され、講演会やステージイベントなど賑やかな催しの中のリレーウォークとなりました。また、同事業は寄付や協賛金で運営されており、院内各部署において、募金及び35枚のルミナリエバックの作成にも協力しました。



当院の35枚のルミナリエバック



リレーウォーク



滋賀医科大学キャンパスにて